

7 月度 例会 個人 山行 報告書		報告者	吉川 浩行	参加 メンバー	CL:吉川 浩行 SL:吉川 憲吾(息子)
		報告日	08 / 27		
山 域	台高山脈	山行日	08 年 07 月 12 日 (土)		
山 名	薊岳・大鏡山				

山行目的	夏山トレーニング	コースタイム (天候 : 天気図記号)
------	----------	-----------------------

配布先	ルート図 (地図を見て正確に)
集会:12	
山行: 1 リ-ダ-	
原紙: 集 会担当者	

ルート図 (地図を見て正確に)

2.5 万分の 1 地図 : 伊勢 (大豆生)

7/12(土) 晴れ時々曇り
05:23 自宅発
08:05 菅野神社過ぎP着
08:30 登頂開始
09:15 一本(分岐辺り)
09:45 一本
10:45 一本
11:40 一本(大鏡山山頂)
13:20 一本(薊岳山頂)
14:00 1320mピーク一本
15:15 あしび山荘前一本
15:30 水場(補給)
16:50 林道出会い(一本)
17:30 林道口P(一本)
18:10 七滝八壺前(通過)
18:25 菅野神社過ぎP着
18:40 P 発
19:50 奈良(檀原実家)着

山行報告 今回の山行は、春のOB山行に続く息子との久々の山行である。午前5時半に自宅を出発し、針ICを越え、現地に向かうも針から37kmと深く、現地到着が8時となった。駐車場で身支度を済ませ菅野神社へと村道に向かう。菅野神社で草刈する村民を横目に、その脇をゆっくりしたペースで登り始める。今回の高低差は約1000mと少々きつい計画ではあるが、来月予定する富士登山を前に息子と計画したトレーニング山行であった。神社過ぎから植林された杉並木を、他愛もない会話を楽しみながら高度を上げていくも、今回のコースは一気に高度を稼ぐもので下界の気温(約30)が重なり、いきなり汗が噴出すのが判る。途中までは当初予定の時間配分で進むものの、暑さ対策・水分補給などで短めにピッチを刻む。そうこうするうちに水が干上がり広場となった大鏡池と大鏡山山頂に到着。そこを過ぎると稜線伝いの山行で、アップダウンのある標高1100mの高原歩きとなった。見晴らしのよい場所で休憩していると、京都(宇治)から来られた方と出会い、その姿(上半身裸、リュックなど装備なし。手にタオルとTシャツ姿)に唖然とする始末であった。その後、小さなクワシグあり、切れ落ちたところありと変化に富んだ山行は憲吾には大うけだったが、歩みを進めると薊岳頂上に到着。薄雲にかかった南側の大峰山系、大台が原方面の眺めにしばし見惚れながら休憩を取った。薊岳を過ぎると憲吾の腹痛で足取りは徐々に重くなるが、所々の表示板で倒木とトスの薄い箇所も難なく進めた。明神平からの下りでは沢の渡渉あり、

藪こぎありと変化に富んだコースのなか、登頂開始から既に6時間以上経過のためか、息子の足取りが大分重くなってきた。明神滝を過ぎ、林道に出ると一安心。また下山とともに暑さが増したためか澤水で体を冷やすなどの一幕もあり、夕暮れ前に駐車場へ到着でき、息子の健脚にうれしさがこみ上げてきた。今回のコースはトスの少ないどちらかと言えば通好みの山でしたが、息子との貴重な時間が共有できた山歩きでした。

リーダー所見 標高差1000mに対し、僅かの不安を感じながらの山行でしたが、憲吾は案ずることなくついてくると共に、また怪我も無く下山でき、事前トレーニングとしては大変良かったと思う。途中、当日の気温と憲吾の体力面を考慮して再々、休憩を取りながら計10時間という長丁場でしたが、次回はテント持参で計画するか、もしくは冬山の樹氷を見る山行にしたい山でした。



確認 (リ-ダ-)	吉
	08/07/21
	川
作成 (報告者)	吉
	08/07/21
	川